

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
朝のリレー	2	○『朝のリレー』の魅力やおもしろさについて考え、互いに発表し合う。	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしてている。	すすんで文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
野原はうたう	1	○詩とは何かを意識的に捉え、自らの考えを表現する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写(特に二つの文章の描かれ方の違い)をもとに捉えている。	粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
書き留める/言葉を調べる	3	○言葉を調べ、想像力を高めることで、詩を読み直したときに新たな発見や印象を抱く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中からお気に入りの一品について話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。
はじまりの風	4	○心情の変化をまとめ、作品の魅力を振り返って伝える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写(特に二つの文章の描かれ方の違い)をもとに捉えている。	粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
指示する語句と接続する語句	2	○指示語や接続語を実際の文章上で正しく使うことができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。	粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題にそって筆者の考えをまとめようとしている。
話の構成を工夫しよう	4	○文章構成を正しくとらえ、伝わりやすい文章とはなにかを理解する。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	すすんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながら考えたことを書こうとしている。

漢字の組み立てと部首	1	○漢字の構成を振り返りながら独自の漢字を考え作り、発表する。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
ダイコンは大きな根？	2	○説明的文章を読みながら、伝わりやすい文章構成を理解する。	音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア		積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。
ちょっと立ち止まって	3	○「未来の自分がどうありたいか」を具体的にイメージし、その過程でどんなことで迷ったり悩んだりするかを考える。その悩みを乗り越えるような「名言」や「印象深い言葉」の情報を集める。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す内容や順番などの表現を工夫している。	粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。
比喩で広がる言葉の世界	3	○比喩を用いて自己表現を行う。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。
情報を整理して説明しよう	4	○正しい情報と誤った情報の判別をする。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。	情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。
空の詞 三編	4	○「空の詩」を作り、クラスで一つの作品を作り上げる。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
語彙を豊かに	1	○案内文の構成を考え、適切な場面で適切な語句が使えるようにする。そのため、相手や目的を意識しながら案内文を書く。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	すすんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。

情報収集の達人になろう	1	○調べ方を網羅し、根拠のある情報を調べることができる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	粘り強く自分の考えを確かなものにするともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。
読書を楽しむ	2	○日頃の読書から、気に入った作品を持ち寄って紹介しよう。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果(特に論理の構成)について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ○「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自	粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。
本の中の中学生	1	○様々な本の種類やジャンルを知り、気になる一冊を見つける。	文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。		すすんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。
大人になれなかった	4	○登場人物の行動や風景の描写を基に、心情を捉えて朗読する。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠を明確にしながらか、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	すすんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書くようとしている。
星の花が降るころに	5	○物語の語り手に焦点を当てて、語り手の存在を意識しながら本文をメタ的読解をする。また、表現技法を取り立てて効果を考えることで、小説が文学作品であるということを自覚する。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。	積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書くようとしている。
項目を立てて書こう	4	○必要な情報を明確にして、実際に開催する行事のお知らせになる文章を書く。	古典には様々な種類の作品があることを知っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。

方言と共通語	1	○言語文化を調べ、方言の実態や歴史的な主用言語を把握して現代の共通語に形成されるまでを理解する。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
聞き上手になろう	2	○相手の話を聞いて、正確に実行する。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで読書が考えを広げることに役立つことを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。
「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	5	○文章構成を理解し、説明的文章の構成を複数種類の中から求められる説明内容に即して選び、適切な根拠を基に文章を書く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	すすんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。
聴きひたる 大阿蘇	2	○詩を味わいつつ、連想を抄らせて詩を創作する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えたとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
根拠を明確にして書こう	5	○意見を主張するために根拠を明確にして書かれた文章とそのように書かれていない文章を比較する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
漢字の音訓	2	○漢字がそれぞれにもつ「音」と「訓」、二つの読み方の違いに注目させ、その使い分けや留意すべき特質について理解を深め、練習課題を通じて知識の定着を図る。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
蓬萊の玉の枝「竹取物語」から	4	○古典の仮名遣いに注意して読む。昔話を讀んだり聞いたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。 ○現代語とは違う意味で用いられている語や、現代語ではあまり用いられない語、現代語と同じ意味の語をあげ、古典の言葉と現代語のつながりについて考える。	古典には様々な種類の作品があることを知っている。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。	昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。

今に生きる言葉	3	○故事成語について理解し、自分の生活を結び付けて考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見直しをもって報告を聞いて質問しようとしている。
「不便」の価値を見つめ直す	4	○必要な情報を選び、結び付けて要約する。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
思考のレッスン2 原因と結果	2	○説明をする際に因果関係を正しくとらえて情報と情報の関係を理解する。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。
「話し合い(進行)」進め方について	1	○より良い話し合いにするための効果的な工夫について話し合い、考えをまとめる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見直しをもって自分の考えを書こうとしている。
話題や展開を促して話し合おう	4	○話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。	単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		すすんで単語の類別について理解を深め、今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。
研究の現場によくそ	1	○研究に関する本に触れ、自分の考えを広げる。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。	すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見直しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。
少年の日の思い出	8	○「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 ○「エーミール」の部屋を訪ねた時の「僕」の心情の変化を捉え、盗みを犯した理由を考える。 ○「自分の考えを伝え合おう2」の課題について話し合いながら考える。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係(特に語りと構成について)、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見直しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。

二十歳になった日	7	○文章を通じて字を表現するための工夫を駆使して、語感を磨きながらエッセイを書く。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
漢字に親しもう	3	○複数の漢字を組み合わせて作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し、身近な例を取り上げ、構成法によって意味や内容が大きく変わること気づかせる。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
構成や描写を工夫して書こう	5	○小説作品を参考に、ごく短いSSを書き、つなぎ合わせて一つの作品を作る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係(特に語りと構成について)、また心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見直しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。
一年間の学びを振り返ろう	4	○文章をまとめて、表現する力、伝える力を振り返り、ピブリオバトルを行う。	共通語と方言の果たす役割について理解している。		すすんで共通語と方言について調べ、学習の見直しをもって共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
漢字の成り立ち	4	○「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類推したりする。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。		積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。
ほくがここに	2	○それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか話し合う。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	○「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ○「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	すすんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。

